

私のイギリス体験記～短期語学研修を終えて～

文学部英語英米文学科3年 宮崎麻子

私は去年の8月の初めから約三週間、英文学ゼミの村里先生に引率していただき英文科の友人6人とイギリスでの短期語学研修に参加しました。そこでの経験で感じたこと、学んだことについてお話したいと思います。

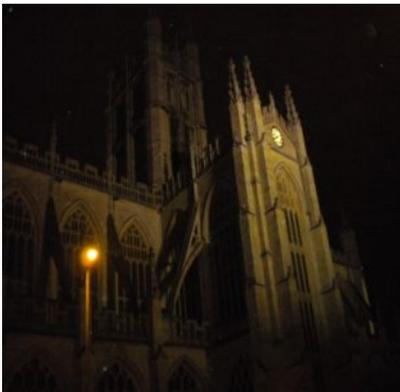
初めての海外 ～ついにやってきた！～

それまで一度も海外に行ったことがなかったこともあり、約14時間の飛行機での旅の後ロンドンのヒースロー空港に到着した直後は、初め自分がイギリスに来たという実感がわきませんでした。しかし、しばらくし当たり前なのですが、まわりに見るもの、あるものすべてが英語であることに気づき徐々に実感がわいてきたのでした。

空港から私たちが今回滞在することになるバースまで移動の時に見たバスからの眺めは今も忘れられません。

世界遺産の町 ～バース～

私たちが滞在したバースはイギリス南部に位置し、世界遺産にも指定されている本当に美しい町でした。全体的に明るいクリーム色を基調としていて、建物全体の統一感を感じました。はじめの一週間は約200年前に建てられた家に滞在しました。自炊生活だったので大変なこともありました。みんなで協力してご飯を作ったり、買い物に行ったり、コインランドリーに行ったりと今ではとてもいい思い出となっています。二週目からは地元の大学でイギリスの文化や発音、文法などを勉強しました。授業の後にはみんなでバースの町に出かけて観光をしたり、買い物をしたりして、バースの町を満喫する毎日でした。また、滞在する中で古いものを大切に、それを現代に活かしているという点はイギリスのどこにいても感じられました。下の写真はバースを代表する建物でもあるバースアビーと形がとても個性的なロイヤルクレッセント、そしてバース・スパ大学にいた牛です。大学では馬も飼われていて驚きました。



バス以外にも、ウェールズの首都カーディフや、大学の町オックスフォード、ハリーポッターの撮影場所にもなったレイコックなど週末には様々な場所に行きました。そこには私たちが想像もできないような古い歴史が存在しました。当時のイギリスがそれぞれの町にそのまま保存されているようでした。下の写真はオックスフォードのクライストチャーチでの集合写真とカレッジの一つであるワダムカレッジです。カレッジでは結婚式も開かれるそうです。



ホストファミリーの家での生活

二週目からはもう一人の友人とホストファミリーの家でお世話になりました。一人暮らしのとてもやさしくて素敵な方だったので本当によかったです。そこでの日常を少しお話したいと思います。食事について基本的に夕食はワンプレートでジャガイモが主食で出てきました。私はジャガイモが大好きなので毎日出てても全然飽きませんでした。ある日は庭でバーベキューだったのですが日本のようにしっかり準備をしてやるのではなくて、準備はとても簡単でいつでもやっているような印象でした。ホストマザーが優雅にワインを飲みながら食べていたのは本当におしゃれだな～と思いました。また生活しているなかで感じたのは夜でも最低限しか電気をつけないということです。テレビがついていればその明かりで他はつけていませんでした。はじめは少し暗いかなと感じていましたが、すぐにそちらもまた落ち着いて快適だなと思うようになりました。肝心の英語についてですがやはり今まで聞いてきた英語と違うこともあり、日常会話でもなかなか理解できないこともありましたが、ホストマザーはそのたびに何度も言ってくれたり、ゆっくり言ってくれました。そしてその分自分の英語が通じたときの喜びはとても大きなものでした。

写真はホームステイ先のホストマザーとの写真とその近所の風景、大学での集合写真です。



華麗なる大都市 ～ロンドン～

最後の二日間はロンドンで過ごしました。ロンドンはやはりバスと並んで私の中で最も印象に残った町です。うわさにはかねがね聞いていましたが、やはり実際に見るのとはその華麗さは大きく違いました。まず、人の多さに驚きました。しかも道を歩いているだけで世界中の言葉が聞こえてきました。国際的な大都市であることを実感した出来事でした。そして時代の最先端をいく大都市にもかかわらず、きちんと歴史的な建造物を残していて、一歩道に入ると19世紀にタイムスリップしたような感覚になりました。そこにはまさに現代と過去の素晴らしい調和がありました。ロンドンの中心部の劇場で見た本場のミュージカルには本当に感動し、また一方では、ロンドン塔、バッキンガム宮殿などでその長い歴史と伝統の息吹を肌で感じました。写真はロンドン名物の国会議事堂、エロスの像の前にある有名なお通り、そしてエリザベス女王のお住まいでもあるバッキンガム宮殿です。



おなかいっぱい食べ物紀行

イギリスでは日本と同じもの、また初めて食べる伝統的な料理（フィッシュアンドチップスやイングリッシュ・ブレックファストなど）もたくさんありました。毎日、今日は何を食べるかなあと考えるのが楽しみの一つでもありました。ここでたくさん撮影して中のいくつかを載せておきたいと思います。きっとこれを見たらお腹がすいてしまうかもしれません（笑）写真は左から、ライスプディング、フィッシュアンドチップスとイングリッシュ・ブレックファストです。



研修を通して感じたこと

私がこのイギリスでの生活を通して学んだことは本当にたくさんあります。

まず、コミュニケーションの大切さです。スーパーマーケットなどで目が合うと皆が笑顔で微笑んでくれました。初めはそれにとっても照れてしまっていたことを覚えています。また、お客さんがお店の人にも”How are you?”など話しかけていたりするのを見て素敵だなと思いました。見知らぬ同士でも人々が会話をすることは日本ではあまりないように思います。しかしこのようにいろんな人と何気ない会話や微笑を返せたら、私たちの生活ももっと豊かなものになるんじゃないかなと思います。

次に意見を言うことの大切さです。ホストマザーに対して遠慮して曖昧なことを言うよりも思い切って意見を言うほうが相手にとってはいいということを学びました。緊張してあまりたくさん話しかけられなかったことも今では少し後悔しています。遠慮せずにわからないことは聞き、感じたことを話すことで相手との距離も縮まるように思います。これらを通して考えてみると、自分自身の考えを持つことがいかに必要なのかが見えてきます。相手に任せるのではなく積極的に自分から話したりすることで、輪が広がり自分自身の成長にもなるように思います。

そして伝統と文化を大切にすることも学びました。新しいものはいつでも作れますが、古い歴史のある建物などは一度壊したら全く同じものはもう作ることはできません。だからこそ古い建物は価値があり、威厳がありまた美しいものなのではないかと思います。日本にもそのようなものはたくさんあります。私自身もそれらを大切にしていきたいと思いました。

最後に海外から日本という国を見ることができたことも今回の研修で得たものの一つです。その中で気づいたことも多くありました。

研修全体を通しての感想として、右も左もわからぬままの初めてのイギリスでしたが、様々なものを見て、感じる事ができて私にとってとてもいい刺激になりました。また近い将来、海外に留学したいと思います。